



千葉労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

2000.12.6 No. 5234

教育問題 について

家族会連続講座開催

**教育基本法改悪、改憲攻撃を
阻止し、戦争国家化を打ち破る
う！**

―教育改革国民会議「中間報告」批判を中心にして―

表題の内容で家族会連続講座
が開催されました。

家族会からの報告を掲載しま
す。

11月26日(日) 家族会は、高
校教員の鈴木一久さんを講師に
迎え連続講座を開きました。出
席者は少ないものでしたが充実
した時間がもてました。

鈴木さんは二晩徹夜して作成
したというレジュメをもとに盛
りだくさんの話をしてください
ました。その内容をまとめます。

「教育改革」

とは何なのか

まず「教育改革」攻撃は国鉄
闘争解体攻撃と一体であること。
国鉄労働者に行なわれたデマキ
ヤンペーンや労働者への責任転
嫁、差別選別攻撃が今さまざま
い「日の丸・君が代」強制をデ
コとした「教育改革」攻撃とし
て行なわれています。

これは新ガイドライン体制の
もとで「戦争のできる国」づく
りの為であり、国鉄闘争と教育
労働者の闘いが強く結合した時
に、全ての反動攻撃を打ち破る

決定打となると強く訴えました。

それでは資本と国が求めている
「教育改革」とは何なのか？

それは権利としての義務教育を
否定・解体し統治行為としての

教育の発想である。義務として
国家が強制する教育とサービス

としての教育の二分化が出さ
れ、全ての労働者にとって雇用

され得る能力の向上が課題とさ
れている。無気力・いじめ・登

校拒否など「教育荒廃」が深刻
化しているが、大失業時代で容

赦ないリストラが行なわれ弱肉
強食の競争社会に生きる親達を

見て、将来への不安と虚しさ
に子供の人格がおかされている、

出口なき反乱である。

新たな「戦前 教育」の始まり

それを戦後教育にあることを
否定し、「教育関係者の責任」

「親・家庭に問題がある」と責
任を転嫁している。

学問に優先する道徳教育の徹
底と奉仕活動の義務化は、行動

や人格までも評価され、序列化
することで、差別を生みこども

達はずまず友達を信頼できな
くなってしまふ。

概に学校現場では「新たな戦
前教育」が始まっている。「良心

の自由の制約に当たらない」「
早い時期から親しませ意味はわ

からなくとも雰囲気はわかる」
「日本人でしよ当たり前じやな

いの」というような「日の丸・
君が代」強制の実態が報告され

ました。

最後にそんな教員を親として
労働者として引つ張り出し一緒

に学んで欲しい。「今日をきつ
かけにして学んで欲しい」と結

ばれました。その後いくつかの
質問が出されましたが結論は「

子どもが人間的な育ちと学びを
保障できる社会をどうつくって

いくのか」というのは広いもの
であり、親どうしが手を取り合

い団結することだとあらためて
思いました。

尚、第13回家族会総会が2月

家族会総会

▼とき 2001年2月18日(日)

13時

▼ところ DC会館

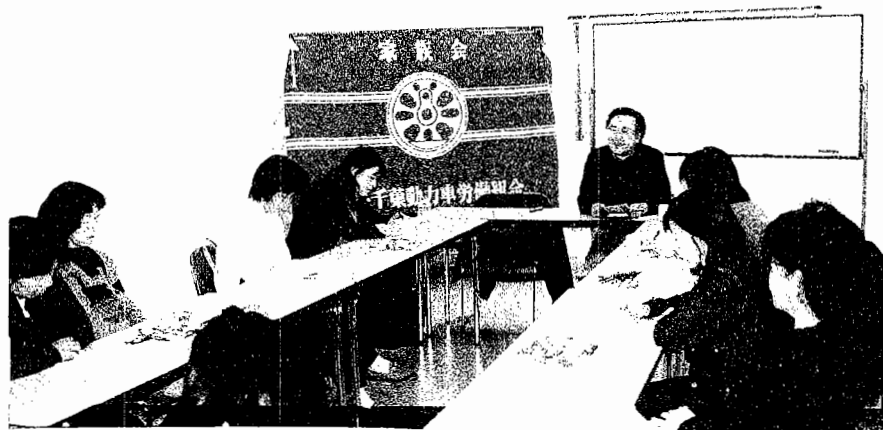
勝浦運転区廃止事件中労委審問

▼12月8日(金)10時30分

▼中労委(指定列車千葉駅⑨番線発8:52)

この日は、一日かけて組合側証人(中野委員長・田中書記長)、会社側証人の審問が行われま
す。全力で集まろう。

18日(日)に開催されます。み
んなの家族会にする為にぜひ多
くの方の出席をお願いします。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！